

議案第 5 5 号

京丹後市と一般社団法人 Sustainable Game との SDG s の達成に向けた若者活躍のまちづくりに関する包括連携協定の締結について

京丹後市と一般社団法人 Sustainable Game との SDG s の達成に向けた若者活躍のまちづくりに関する包括連携協定を、別記のとおり締結することについて、京丹後市議会基本条例（平成 1 9 年京丹後市条例第 5 5 号）第 1 0 条第 1 項第 3 号の規定により、議会の議決を求める。

令和 4 年 3 月 1 1 日提出

京丹後市長 中 山 泰

提案理由

京丹後市と一般社団法人 Sustainable Game が包括的な連携協力のもと、グローバルな視野を持ちながら様々な地域課題の解決に挑戦する将来世代の輩出に向け、中学校、高等学校等における ESD（持続可能な開発のための教育）の推進支援、全国の企業や NPO、教育機関等との「共創」を促進する仕組みの構築などを行うことで、SDGs の達成及び将来世代のニーズを反映させた持続可能な社会・経済の実現に資することを目的として協定を締結するものである。

(別記)

京丹後市と一般社団法人 Sustainable Game との SDG s の達成に向けた若者活躍のまちづくりに関する包括連携協定書

京丹後市（以下「甲」という。）と一般社団法人 Sustainable Game（以下「乙」という。）は、以下のとおり包括連携協定（以下「本協定」という。）を締結する。

(目的)

第1条 本協定は、甲及び乙が包括的な連携のもと、グローバルな視野を持ちながら様々な地域課題の解決に挑戦する将来世代の輩出に向け、中学校、高等学校等における ESD（持続可能な開発のための教育）の推進支援、全国の企業や NPO、教育機関等との「共創」を促進する仕組みの構築などを行うことで、SDG s の達成及び将来世代のニーズを反映させた持続可能な社会・経済の実現に資することを目的とする。

(連携事項)

第2条 甲及び乙は前条の目的を達成するため、次に掲げる事項（以下、「連携事項」という。）について連携・協力する。

- (1) 学校等における ESD の推進に関すること
- (2) 将来世代と企業・NPO 等との「共創」の促進に関すること
- (3) 関係人口の創出・拡大に関すること
- (4) その他協定の目的を達成するために甲及び乙が必要と認めること

2 甲及び乙は連携事項を効果的に実施するため、定期的に協議を行うものとする。また、具体的な協力内容については、甲乙合意の上、決定する。

(協定内容の変更)

第3条 甲又は乙のいずれかが、本協定の内容の変更を申し出たときは、その都度協議の上、書面により必要な変更を行うものとする。

(守秘義務)

第4条 甲及び乙は、連携事項の具体化の検討及び第2条第2項に基づき決定した協力内容の実施により知り得た相手方の秘密情報を、相手方の事前の書面による承認を得ずに第三者に開示又は漏えいしてはならない。

2 甲及び乙は、本協定が理由のいかんを問わず終了した後も、前項に定める秘密保持義務を負うものとする。

(有効期間)

第5条 本協定の有効期間は、締結日から令和5年3月31日までとする。ただし、本協定の有効期間が満了する日の1か月前までに、甲又は乙が書面により特段の申し出を行わないときは、有効期間が満了する日の翌日から1年間本協定は更新され、その後も同様とする。

(協議)

第6条 本協定に定めのない事項又は本協定に定める事項に関し疑義等が生じた場合は、甲乙協議の上、決定するものとする。

本協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙それぞれ署名の上、各自その1通を保有するものとする。

令和4年 月 日

甲 京丹後市長

乙 一般社団法人 Sustainable Game 代表理事

協定概要

「SDGsの達成に向けた若者活躍のまちづくりに関する包括連携協定」

1 連携事項

- (1) 学校等におけるESDの推進に関すること
- (2) 将来世代と企業・NPO等との「共創」の促進に関すること
- (3) 関係人口の創出・拡大に関すること
- (4) その他協定の目的を達成するために甲及び乙が必要と認めること

2 具体的な連携方策(想定案)

＜学校等におけるESDの推進に関すること＞

● 持続可能な社会の創り手を育むオンライン出前授業の実施

市内中学校、高校における探求学習等と連携し、Sustainable Gameが社会問題解決に挑むためのマインドセットを育むオンライン学習プログラムを提供する。中高生自身が社会問題との向き合い方だけでなく、自分のキャリアについても考えることができるプログラムを予定。

＜将来世代と企業・NPO等との「共創」の促進に関すること＞

● 若者発！SDGs共創プロジェクトの実施

中高生をはじめとする将来世代による社会課題の発見から解決策の社会実装までを企業やNPO、アカデミアと連携しながら包括的に支援するプラットフォーム「Flare」に京丹後市がパートナーとして参画し、「共創」による課題解決プロジェクトの支援を実施する。
※京丹後市未来チャレンジ交流センターや地域コーディネーターとも連携

＜関係人口の創出・拡大に関すること＞

● “若者活躍の聖地”を目指した取組

高校生を中心とする将来世代がSDGsのその先(+beyond)のまちの姿を提示する場として令和4年度に開催予定の「丹後万博」(仮称)への参画や、全国の中高生等との交流事業の企画、SNS・イベントでのPR等を通じて、SDGsの達成に資する様々な社会課題の解決に挑戦する将来世代が集う「若者活躍の聖地」として全国、世界へ発信し、関係人口の創出・拡大を図る。

3 協定に至った背景

令和3年11月に開催した「ICT×地方創生甲子園」において、一般社団法人 Sustainable Gameの代表理事を務める山口由人氏が、未成年が自ら課題発見・提起を行い、その解決のために企業と共創する仕組みを構築する事業を提案し、グランプリを受賞。

本市においても、これまで京丹後市未来チャレンジ交流センターの運営やICT甲子園等の取組を通じて、若者のまちづくりへの参画を促してきた中で、「若者のアイデアを形にして実装する」部分が課題となっていたため、今後、2030年のSDGsの達成、またその先の未来(+beyond)に向けて若者活躍の環境整備を推進していこうという双方の意向のもと、連携協定の締結に至ったものです。